

基礎研修を終えて

報告者：2期生 井上 眞規子

2016年2月20日、基礎研修2期生として44名と共に3年間の研修を修了しました。3年に渡る研修を終え、あらためて生涯研修制度が研修生の能力開発やキャリアアップ支援のための素晴らしいものであったと実感しています。研修で得たもの…それは課題からの実益だけでなく、目に見えないモノを察知する感性を常に磨き続けることの大切さです。

国家資格を得ても「社会福祉士」にふさわしい専門的な力量が備わっているわけではないことも確信しました。

学ぶ中で、社会福祉士の関わる分野の多さと深さと広がりを知り、援助者として対象者の方への一言目に「否定語から入らない」を認識し、社会全体を俯瞰し冷静な判断を心がける等々、たくさんのことを体感しました。

また、同期生の個々人の職場での取り組みや経験を知ることにもなり、これからの自分自身の活動や仕事の中で様々な専門職や各機関との連携がいかに重要か！をも身をもって体験させていただきました。

私は年齢的には前倒しで自己研鑽をしていかなければなりません。出来る限り、県社会福祉士会の活動等に参加し、若い方々を後押ししたり協力しながら「謙虚に丁寧に、そして誠実に」関わっていきたいと願っています。2期生は「カムカムの会」と名づけた同期会も結成して、これからも穏やかに繋がり、支え合い励ましあっていくことになりました。

最後になりましたが、事務局並びに関係者の皆様、お世話になり心より感謝しております。本当にありがとうございました。

